



思わぬ方向に進み、苦戦する室内カーリング競技

7月27日 早来小学校の体育館で安平町高齢者スポーツ大会が開催され、町内に住む60歳以上の方、約200名が出場しました。昨年は、早来と追分の両地区が別々に開かれましたが、今年は一堂に会しての競技会。元気な声援や明るい笑い声が場内に響いていました。来年からは会場を交代で行なう予定です。

一堂に会しての競技を楽しむ



40年かけた北海道形のオンコ

鈴木忠康さん（早来北進）が40年間、手塩にかけて育ててきた北海道形にかたどったオンコの木がこのほど完成しました。

苗木のころから剪定だけで枝を伸ばし、木の小さいうちから北海道地図と照らし合わせながらの刈り込みは根気のいる作業。何度もやめようと思ったとこの40年間を振り返ります。

今回、針金の添え木をしないでの完成に胸を張り、これからも色々な形のものを作りたいと意欲的に話していました。



写真展示会を開催中

ぬくもりセンター展示コーナーで8月18日まで『子供のふれあい写真展』を開催しています。ほのぼのとした表情をぜひご覧ください。



巨大メロンに驚く

アサヒメロン生産農家の菊地博夫さん（追分旭、円内）はハウス内で巨大なメロンが育っているのを見つけ驚いています。

計測の結果は約5.7kg、2kg前後が通常サイズなので約3倍の重さでした。



利用者との夕食会

利用者との交流をととして 7月30日に第2富門華寮通所部でワークキャンプが実施され、早来中、追分中及び追分高校の生徒9名が利用者との交流を深めました。参加者は目隠しをして視覚しようがい疑似体験を行い、目が不自由なことの大変さを実感しました。夕食は手巻き寿司で、注文を聞きネタを海苔で巻いて手渡していました。お互いの緊張も解け、和やかな会話が弾んでいました。